

附属看護学校だより

新学期

令和5年度新学期が始まりました。
閉校を迎える今年度は、3年生35名でのスタートとなりました。

始業式



学生の声

最終学年は、1・2年生で学習した知識の総まとめと専門性の高い講義、領域別実習が中心となります。

今まで以上に多くの学びがあるとともに、困難なことも多いと思います。どんな時もクラスの仲間と支え合い、励まし合いながら乗り越えていきたいと思います。

3年生の目標は「全員で国家試験合格！！笑顔で卒業」です。知識や技術だけでなく、看護師としての姿勢や考え方も身に付け成長していきたいと思います。1年間精一杯頑張りたいです。
(学生 A)

入学してからあっという間に2年間で過ぎていました。

1年生の頃は、難しい授業内容や学習する内容も多く、はじめてのことばかりで不安に感じることも多くありました。2年生になると学校生活、学習内容にも慣れ、実習も基礎看護学実習から領域別実習へと本格的に始まっていきました。実習のなかで患者さんとの関わりや援助を学ぶ中で悩むことも多くありました。

その中で、クラスの仲間と一緒に考え、支え合い乗り越えてこれたと思います。これからも協力して楽しみながら学んでいきたいと思います。
(学生 N)

最終学年は、実習、就職試験、国家試験対策とこれまでの学習の集大成として、力を発揮する場面が多く出てくると思います。1, 2年生の講義で学習した知識に領域別実習でさらに専門的知識が増えて来ています。学んだ知識を確実に自分のものにできるように日々学習していきたいです。

最後の1年、苦しい時もあると思いますが、クラスの仲間と励まし合いながら、乗り越えて行きたいです。
(学生 K)

災害訓練

令和5年4月24日(月) 春季防災訓練がありました。
今年度は、学生食堂からの火災を想定した避難訓練、通報訓練と煙体験を行いました。



学生の声

今回の防災訓練では煙体験をしました。
煙が充満したテントの中は、視界不良で何も見えずとても怖かったです。

体験後、消防士さんからのお話の中で、煙は上に上がる性質があり、姿勢を低くして避難することで、煙をあまり吸うことなく避難できることを学びました。

火災はいつ発生するか分からないので、火元になりそうな場所や避難時に障害になりやすそうな場所を普段から把握して備えて行きたいと感じました。

(学生 K)

防災訓練を行い、避難経路や消火器の場所を再確認し、もし災害がおこっても安全に避難行動ができるようにしていきたいと思いました。

今年度は、火災時の煙の様子を体験する煙体験も行いました。煙によって視界が不良になる怖さや、煙が発生した時は、姿勢を低くして行動することが大切だと学ぶことができました。防災グッズの準備の必要性を防災訓練で再確認できるいい機会となりました。

(学生 I)



看護の日



学生の声

4月28日に看護の日のボランティア活動として、日頃実習でお世話になっている信州上田医療センターの清掃を行いました。

日頃の感謝の気持ちを込めて、丁寧に清掃を行うことで、患者さんが気持ちよく利用していただけるとの思い、学生一丸となって掃除に取り組みました。

来年度で閉校となるので看護の日の活動は最後となりますが、日々感謝の気持ちを持ちながら、残りの学生生活を過ごしていきたいです。

(学生 S)

